

『連盟第69回定期総会に向けて』③

吉田真司

まず標題の件を展開する前に、この度の元日に発生した能登半島地震で犠牲となられた方々とその家族、家屋が被災し避難生活されている方々、ライフラインが機能せず困窮されている方々すべてをおぼえて、主の慰めとこれからの歩みのために祈ります。現在、連盟は勿論のこと、他のキリスト教諸団体においても人道支援の展開につき検討が始まっているところです。適宜情報を受け止めつつ、私たちの教会も、祈りと具体的な支援をもってつながってまいりましょう。

さて、連盟第69回定期総会の議案4は「2024年度会計予算の件」です。

今予算では、「聖書教育」の継続発行、機関紙「バプテスト」の新たな展開、教会・伝道所活動支援、全国ユースキャンプ、教会音楽研修センター等の関連費を計上しています。昨年度の総会で承認された中期計画（23年度～26年度）、4カ年の間に連盟の収支バランスをとる計画に基づいての予算となっています。以下、特記事項

- 1) 一般会計収入予算・・・「協力伝道献金」収入予算は1億2000万円（23年度は1億1800万円）です。教会支援のため全国支援・地域協働積立金から300万円を取崩します。
- 2) 一般会計支出予算・・・教会・伝道所活動支援費として720万円を確保（上記300万円の取崩しによって）。25年度にバプテスト大会を開催するための積立90万円。24年度開催予定の全国ユースキャンプ費のため150万円（23年度積立150万円合わせると300万円）。教役者退職金会計への減免（※）分繰出し（一般会計より）。※「減免」制度とは、財政規模により拠出金の負担が難しい教会への支援制度。
- 3) 国外伝道会計予算・・・日本バプテスト女性連合より国外伝道分として献げられた世界バプテスト祈祷週間献金（23年度受領分）は約2,170万円で、インドネシア伝道費（宣教師2名派遣）、国際協力伝道・国際ミッションボランティア派遣費（ルワンダ1名）他のため用いられます。

その他、従来『バプテスト』誌を24年4月より無料化する計画にあたり、当該部門は収益事業部門から一般会計部門に移されます。※『バプテスト』誌に替わる今後の機関紙「バプテスト」（広報としての紙版と情報のひろばとしてのWeb版）については後述します。→次号につづく

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046(274)3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>